

農学部におけるカリキュラムの見直し等について

農学部 吉田 昭 治

1. 農学の分野では、バイオ技術の発展や、生物資源の生産だけでなく環境との関連が重視されることなどが契機となって、1986年より全国の農学部の再編が始まった。この流れの中で新潟大学農学部は、1991年に農学、林学、農芸化学、農業工学、畜産学の旧5学科より、農業生産科学、応用生物化学、生産環境科学の3学科（以下では、この順に第1、2、3、学科と略称する）に改組された。

2. この翌年の'92（平成4）年に、教養課程の廃止に伴う一般教育の改革が全学の課題となった。農学部では、農学というもともと総合科学としての性格が強い科学技術の教育が中心となることから、専門分野の高度な教育と研究を行なう専門教育とともに、社会の激しい変化や科学技術の急速な進歩にも自主的に創造性をもって対応できるように幅広く深い教養と総合的な判断力、豊かな人間性を培う教養教育の重要性を確認し、平成5年度のカリキュラムの改訂が図られた。

専門科目については、学部改組したばかりの翌年の検討ということもあり、一切手をつけず、すでに改組時に設けられていた科目のうちから、各科3科目6単位の概論の科目を、学部一貫教育の視点より1年次の必修科目に下ろすにとどまり、最低履修単位数を80単位とした。

教養科目については、卒業に必要な最低履修単位数を旧54単位より、10単位（外国語6単位減、保健体育3単位減含む）少ない44単位とした。このうち総合科目群、人文科学科目群、社会科学科目群については、偏らず幅広く履修するようにそれぞれ最低4単位履修することとし、自然科学科目群については、専門基礎科目としての位置づけから、第2学科では12単位以上、第3学科では13単位以上（第1学科では4単位以上）を指定した。なお、総合科目群については、農学部で既に分担、開講していた生物

資源論（通年4単位）を農学部生共通の必修科目として指定した。

3. 平成6年に大学教育開発センターが設置され、全学的に教養教育について根本からの検討が進められ、内容や実践方法の改善がなされた。農学部もこの検討に参加し、教養教育についての認識を深め、教養教育の充実を受け取ることとなった。しかし、教養一専門教育の一貫教育としての履修規定そのものは、総合科目以外は、平成5年度のまま平成8年度まで踏襲されてきている。

農学部教員が担当している総合科目については、平成6年度には、従来の「生物資源論（通年4単位）」を「生物資源論」2単位、「土と緑の環境論」2単位に分割し、農学部学生の必修科目とした。

翌平成7年度には、全学的な総合科目充実の方向にそって「食品の科学」2単位と「稲作文化論」2単位を開講し、上記の2科目4単位とともに農学部学生の必修科目とせず、全学に開放し、全学出動による教養科目の分担の実をあげる一助とした。

4. 平成8年度に入って、農学の一貫教育を目指して、改組以来初めて専門教育のカリキュラムの改訂を行った。

第1学科では、平成10年度から、教養教育科目の最低履修単位数を現行の44単位から35単位程度まで縮小の方向で、同時に専門科目を抜本的に改正することとした。

第2学科では、平成9年度から、10科目ほどの名称変更・新設、2科目の新設などによる専門科目の抜本的改善とともに、第2学科の開講科目の履修だけで農業の免許が取れるように農業指定科目を増やすこととし、また食品衛生管理士資格取得のために科目変更を行なった。教養科目については、平成10年度から、最低履修単位数を40単位に縮小するが、自然科学系実験1単位と情報科目2単位を追加する方向で検討することとした。

第3学科では、教養一専門の一貫教育の実をあげるためと3講座からなる学科としてのアイデンティティを高めるために、学科としての共通必修科目を見直して3科目の新設変更と1年次と2年次I期への専門必須科目の配置を多くするなどした。

5. 今後の課題

- カリキュラム改善のための学生アンケート（'95.9）によると、どの学科でも自然科学系基礎科目の全てについて20%以上の学生が履修の不足を感じている。教養科目の自然科学系科目の履修と関連させて、どのような方法で補充していくか、検討が必要である。
- 高学年でも現行より多くの教養科目を履修できるようにするために、学年別の履修状況の実態を調

べ、場合によっては、学年別の教養科目履修の上限数、下限数を検討するとともに、授業時間表で履修を保証する必要がある。（第3学科で平成9年度に2学年で中級英語IIが履修できるように考えたが、授業時間表の関係で徹底できなかった）

- 教養科目と専門科目の最低履修単位の適切な設定。
- 一貫教育の実をあげる視点から、学科ごと、講座ごとの教育目標をさらに掘り下げ、カリキュラムの現状を分析し、必要な改正をする。